

作成日: 2001年11月22日

改訂日 (V.6): 2016年12月28日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称: **アタックワンAL**

会社名: 日本農薬株式会社
 住所: 〒104-8386 東京都中央区京橋 1丁目 19番 8号 京橋OMビル
 担当部門: 環境安全部
 TEL. 03-6361-1426, FAX. 03-6361-1451
 e-mail: kankyuanzen@nichino.co.jp
 緊急連絡電話番号: (平日) 03-6361-1426 (環境安全部)
 (休日、夜間) 04-2929-8961 (ALSOK)
 推奨用途及び使用上の制限: 家庭用殺虫殺菌剤
 SDS番号: 501-108 (M01-82)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分外
	自然発火性液体	区分外
健康有害性	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	区分外
	急性毒性(吸入: 蒸気)	区分外
	急性毒性(吸入: 粉じん、ミスト)	区分外
	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分外
	皮膚感作性	区分外
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分外
環境有害性	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分外
	水生環境有害性(急性)	区分1
	水性環境有害性(長期間)	区分1

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語: 警告
 危険有害性情報: 水生生物に非常に強い毒性
 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【安全対策】

- 必要なとき以外は環境への放出を避けること。

【応急措置】

- 漏出物を回収すること。

【保管】

【廃棄】

- 内容物、容器を法、条例等に従って安全に処理する。または都道府県知事等の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

他の危険有害性：特に無し。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分：混合物

有効成分化学名（一般名）

- (1) 2-メチルフェニル-3-イルメチル=(Z)-(1RS,3RS)-3-(2-クロロ-3,3,3-トリフルオロプロパ-1-エニル)-2,2-ジメチルクロロプロパノールキラル体（一般名 ビフェントリン）
- (2) 2-p-クロロフェニル-2-(1H-1,2,4-トリアゾール-1-イルメチル)ヘキサントリル（一般名 ミクロブタニル）

成分及び含有量：

成分	含有量	CAS No.	安衛法 No.	化審法 No.
ビフェントリン	0.003%	82657-04-3	7-(3)-277	(4)-1701
			化管法第二種指定化学物質、化審法第二種監視化学物質	
ミクロブタニル	0.008%	88671-89-0	8-(3)-968	—
			化管法第一種指定化学物質	

<その他>

水、界面活性剤等	残	—	—	—
----------	---	---	---	---

4. 応急措置

眼に入った場合：直ちに清浄な流水で15分以上洗浄する。眼球、眼瞼の隅々まで水がよく行きわたるように洗う。医師の診療を受ける。

皮膚に付着した場合：汚染された着衣、靴等を速やかに脱がせ、付着部を多量の水と石鹼でよく洗浄する。異常が現れた場合には、医師の診療を受ける。

吸入した場合：被災者を速やかに空気の新鮮な場所に移す。異常が現れた場合には、直ちに医師の診療を受ける。

飲み込んだ場合：口の中をすすぎ、カップ1~2杯の水を飲ませ、直ちに医師の診療を受ける。意識の無いときには口から何も与えてはならない。ビフェントリンの解毒剤としては、筋弛緩薬メトカルバモール製剤等の投与が有効であると報告されている（動物実験）。

5. 火災時の措置

消火時の注意：消火活動には適切な保護具（自給式呼吸保護具等）を着用する。蒸気、煙等の吸入を避ける。消火水が下水や河川に流れ込まないよう適切な処置をとる。

消火剤：粉末、泡沫、炭酸ガス、水

使ってはならない消火剤：情報なし。

6. 漏出時の措置

付近の人を風上に避難させ、漏出現場への立ち入りを禁止する。適切な保護具（保護衣、保護眼鏡、保護マスク等）を着用して、眼や皮膚に触れたり、液滴やガスを吸い込まないようにする。漏出物を土、砂等に吸収させ、密封できる容器に回収する。その後、汚染された場所を水で洗う。漏出物や洗浄水等が河川、下水等に流出し、環境へ影響を与えないように措置する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い： 局所排気装置を設置し、換気のよい場所で行う。
適切な保護具を着用し、ガスやミスト、液滴を吸い込んだり、眼、皮膚に触れないようにする。作業後は、すみやかに眼、手、顔を洗い、うがいをする。
- 保管： 換気のよい冷暗所に保管する。食物、飼料等と離し、無関係者、子供の手の届かない所に施錠して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策： 局所排気装置を設ける。取扱い作業場の近くに洗眼、洗面、うがい、安全シャワー設備を設置する。
- 個人用保護具： 状況に応じた適切な保護具を着用する。保護マスク、保護眼鏡、保護衣(長袖・長ズボン)、ゴム手袋

9. 物理的及び化学的性質

- 外 観： 淡黄色澄明水溶性液体 (ハンドスプレー容器入り)
- 臭い： わずかな特異臭あり。
- 比 重： データ無し。
- pH： 7.0~10.0/20℃
- 引火点： 引火性無し。
- 自然発火性： 常温の空気と接触しても自然発火しない。

10. 安定性及び反応性

- 化学的安定性： 通常の条件下では安定。
- 危険な反応： 知られていない。
- 危険有害な分解生成物： 知られていない。

11. 有害性情報

- 急性経口毒性： ラット LD₅₀ 値 (mg/kg) ♂, ♀ >5000
- 急性経皮毒性： ラット LD₅₀ 値 (mg/kg) ♂, ♀ >2000
2000 mg/kg 投与で死亡例や中毒症状無し。
- 急性吸入毒性(蒸気、ミスト)： 混合物に 1%以上含まれる成分はイオン交換水のみであることから区分外とした。毒性未知分量は 0.35%。
- 皮膚腐食性及び皮膚刺激性：
ウサギ 刺激性無し
- 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：
ウサギ 極軽度の刺激性あり
- 皮膚感作性： モルモット 陰性
- 特定標的臓器毒性 (単回ばく露)
ラットを用いた経口・経皮急性毒性試験において、区分2のガイダンス値以上の用量で死亡、中毒症状、体重に対する影響が認められなかったことから区分外とした。
- 特定標的臓器毒性 (反復ばく露)
混合物に 1%以上含まれる成分はイオン交換水のみであることから区分外とした。毒性未知分量は 0.25%。

12. 環境影響情報

- 水生環境有害性(急性)：
コイ、オオミジンコの毒性データにより区分1とした。

水生環境有害性(慢性)：区分 1

急性区分が 1 で、急速分解性及び生物蓄積性が不明であることから慢性区分 1 とした。

生態毒性：

コイ LC₅₀ 値/96hr 0.24 mg/L

オオミジンコ EC₅₀ 値/48hr 0.10 mg/L

残留性・分解性： 製剤のデータ無し。

生体蓄積性： 製剤のデータ無し。

土壌中への移動性： 製剤のデータ無し。

オゾン層への有害性： 製剤のデータ無し。

13. 廃棄上の注意

法、条例等に従って安全に処理する。または産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

空容器： 内容物を使い切った後適切に処理する。

14. 輸送上の注意

容器に異常の無いことを確かめ、転倒、落下しないように積載する。

国連番号： 3082

品名 (国連輸送名)： ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S.
(contains bifenthrin)

国連分類： 9

容器等級： III

海洋汚染物質： 該当

緊急時応急措置指針番号： 171

15. 適用法令

農薬取締法

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物に該当せず (ビフェントリンは劇物であるが含有量 2%以下であり該当せず)。

労働安全衛生法

表示対象物(法 57 条、施行令第 18 条)： 該当せず。

通知対象物(法 57 条の 2、施行令第 18 条の 2)： 該当せず。

化学物質排出把握管理促進法 (化管法)

指定化学物質： 該当せず (第一種指定化学物質マイクロブタニル、第二種指定化学物質ビフェントリンを含有するが、含有量が 1%未満であり該当せず)。

16. その他の情報

参考文献

- 1) JIS Z 7253 : 2012、GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)

本データシートの記載内容は、この化学品の取扱い時の安全性に関する参考情報であり、安全性や品質の保証をなすものではありません。また危険性、有害性の評価は、必ずしも充分ではありませんので、取扱いには充分注意を払って下さい。